

会 議 録	
会議名	第26回日野市地域公共交通会議
日時	平成29年 8月2日(水) 10:00から11:00まで
会場	日野市役所本庁舎503会議室
出席者	委員 別紙のとおり
	事務局 都市計画課 岡田課長、壁巢課長補佐、高橋主事、高野
議題	<p>議事</p> <p>(1) 平成28年度予算・決算について(協議事項)</p> <p>1) 平成28年度補正予算(第二回)(案)</p> <p>2) 平成28年度決算(案)</p> <p>(2) 平成28年度利用状況について(報告事項)</p> <p>(3) 平成29年度事業について(報告事項)</p> <p>(4) その他(報告事項)</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 平成28年度予算・決算について(協議事項)</p> <p>1) 平成28年度補正予算(第二回)(案)</p> <p>事務局から説明(資料1)</p> <p>2) 平成28年度決算(案)</p> <p>事務局から説明(資料2)</p> <p><意見、質問等></p> <p>委員</p> <p>決算書4ページ2事業費1事業費が決算額0円だがこの理由はなぜか。</p> <p>⇒昨年度10月に実施した南平路線の回送経路の営業路線化に際し、北野街道上にバス停を2カ所設置するために予算措置を行ったが、当該地は現在東京都により拡幅工事を実施しており、交通管理者との協議の結果、この工事が完了後に設置するとの結論に至り昨年度は予算執行を見送ったためです。</p> <p>(事務局回答)</p>	

(2) 平成28年度利用状況について（報告事項）

事務局から説明（資料3）

<意見、質問等>

委員

利用状況の分析はしていますか。また、アンケート調査等を行っていますか。あるいはこれから行う予定はありますか。

⇒平成22年度に「日野市地域公共交通連携計画」を策定の上、ミニバスにおいては、大々的に路線の再編を実施した。それ以降現在まで利用者数は右肩上がり、順調に伸びている。このような状況もあり平成22年度以降ミニバス、ワゴンタクシーにおいてアンケートは実施していない。しかし、この後の議題にもあるが、利用状況は元より、現在、時代の変化により多種多様な要望を寄せられている中、これから予算措置等を行っているのですが、今年度後半にアンケートや利用実態を把握するためのOD調査等を行っていきたいと考えている。（事務局回答）

委員

ミニバス平山循環路線、ワゴンタクシー平山ルートは共に利用者数は減っている。平山エリアは人口が減っているのか。あるいは高齢化の影響か。

⇒このエリアの要望内容を見ると高齢化に起因する要望内容は多い。

ミニバス平山循環路線は市内を運行している7路線の中でも立上げの時に沿道の合意形成を取るのに一番時間を要した。この時の影響でバス停の間隔も不均衡であり、バス停への移動が大変であるとの意見が多い。毎年のように自治会を通じて、バス停の新設やルート変更の要望が出されるが、結局、ルート変更される地先の方や、新設バス停の候補地の地先の方の同意が得られず実現していない。このため高齢者の方には利用しづらい状況が生まれている。ワゴンについては、この後の議題にも出てくるが、停留所への移動に関して利用者に不便をかけている部分があり、ここで改善を図りたいと考えている。5～10年前では停留所への移動が大変という話は無かったが、最近では高齢化の影響でこのような意見も多く、この辺が利用状況に影響を与えていると分析している。（事務局回答）

(3) 平成29年度事業について（報告事項）

事務局から説明（資料4）

委員

豊田南口ロータリーの最終的に整備が終わる時期はいつか。その時は、バスバースはどの程度設けられるのか。

⇒平成 34 年度までに用地空けを行い。その後、整備を行う。バスバースは 3 カ所程度を予定している。(事務局回答)

委員

資料 5 ページの「市内公共交通の更なる充実」について具体的に 31 年度に再編を目指すとするが、この会議の具体的な関わり方を詳しく説明願いたい。

⇒今年度後半に OD 調査やアンケート等の基礎調査を行い、これを基に来年度計画策定に入る。このため計画策定時となる来年度は事務局にて素案策定後委員の皆様にご意見をいただきながら最終的な計画を取り纏めることとなる。会議はここ数年は年に 2 回の開催であったが来年度は特に回数は定かではないが、召集していただく機会はかなり増えると思われる。(事務局回答)

委員

OD 調査、アンケートを行うとのことであるが、どこまで、どのような形で行うのか。

⇒9 月補正で予算化をしてからなので時期的に年末にさしかかる。年末は利用者の動きが多く、通常期と異なる動きとなるので、通常期に近いデータを収集するためにも 2 月位まで行いたい。具体的な方法はこれから決めていくが、基本的なものは、バスに同乗して乗客がどこで乗って、どこで降りたか等の調査となる。(事務局回答)

委員

ワゴンタクシー平山ルート在市立病院から平山苑上までの所要時間は。

⇒概ね 30 分です。(事務局回答)

委員

利用状況の調査に合わせて、例えば交通不便地域に高齢者がどの位いるのか等の分析も必要ではないか。

⇒現在都市計画マスタープランの改訂、立地適正化計画の策定の作業中であり

その中で、細かく人口推計は出している。また、この中で、今後都市計画を進めていく上では、バス交通等は重要になってくるとの認識である。都市計画マスタープランの方針決定期間とバスの再編期間が重複しておりタイミングとしては良いと考えている。(事務局回答)

会長

この議論は、先ほど挨拶の時に話した、市長の「時代に即した公共交通を目指す」という考え方からも大事なところである。今年調査を行い、来年計画をつくり、再来年からの実施ということで、来年は本会議も大変忙しくなる。

委員

ワゴンタクシー平山ルートの見直しについて新ルートとなる区間は、道路管理者等に事前に確認していただいた方が良い。本路線は道路運送法第4条一般乗合旅客自動車運送事業で認可となっているので、新ルートは路線の新設となり認可をする際、道路管理者、交通管理者に照会をすることとなり、そこで支障有となると認可ができなくなる。

⇒ご指摘のとおり確認する。(事務局回答)

委員

4ページのワゴンタクシー平山ルートの経路変更は、ワゴンタクシーが地域公共交通案件として運行していることから、実施前に交通会議に諮り変更の了承を受けなければならない。事後報告として今回、案件にかけられ、停留所の変更は無く、広い道路となり、利用者にとっては不便はかかっていると思われ、ルート変更となると地域公共交通会議の規定でOKであれば、事後報告又は書面決裁にて承認を受けた方が良くと思われる。
変更の手続きは済んでいますか。

⇒先ほど説明した循環路線化の手続きの中で本変更も行う予定で考えていたが、ご指摘のとおり、本案件は循環路線化の手続きとは切り離し速やかに手続きを行う。(事務局回答)

委員

そこはしっかりやっていたかなければならない。大至急対応願いたい。

会長

会議にかけてから進めるものや認可を取らなければならないものは、基本があるので、利用者のニーズに速やかに応えるためスピーディーに進めていかな

ければならないのはわかるが、ご指摘の処置は基本でありしっかりやらなければならない。

(4) その他について（報告事項）
事務局から説明（資料5）

<意見、質問等>

委員

広報に関して、比較的ワゴンタクシー、ミニバスは、利用者の方が通しては欲しいけど利用してくれないというアンバランスな部分がある。利用率で見ると対前年度比 100%を越しているが収益関係で言えば利用者がより増えれば収益が増え、増便等もでき更に利用者拡大に繋がる。積極的に PR していただくと共に、ただ走っていますよという PR ではなく「どのように利用したら便利ですよ」とか「このような時はこれを使った方が便利です」といったような案内を工夫したら良いと思う。これが利便性向上につながり、利用増となる事で地域公共交通を担っているバス、タクシー事業者の達成感にもつながり地域が盛り上がっていくことにもつながる。余談ではあるが、さいたまでは駅前で時刻表の配布したり「ここに行く時はこのルートを使い、この時間に出ればこの時間に着きますよ」といったような案内において工夫している事例もある。また、マイ時刻表という形ですね。お年寄りには時刻表が見つらいということがあって、「ここに行く時はこの時間にある」という空欄の表みたいなものですが、マイ時刻表をつくっていただくような工夫をしている事例もある。ですので PR 効果も良く検討して実施して欲しい。

⇒ご指摘のとおりだと思います。今までもやっていた部分もありますが、これからは先行事例なども参考に取り組みでいきたい。また、広報において本日の議題にも取り上げた「市内公共交通の更なる充実」についてもご紹介していきたいと考えております。（事務局回答）

委員

「中央図書館」の停留所の位置を表示する案内板がわかりづらい。通常バス停やタクシー乗場などはわかりやすいものが置いてある。ミニバス、ワゴンタクシーの PR ということであればこの辺も工夫すれば良いと思う。

⇒「中央図書館」停留所の周辺はスペースもありわかりやすい案内板を考えていきたい。ワゴンタクシーは特に丘陵地ですが停留所周辺のスペースがなくポールを立てて案内板を設置することができず、場所によっては、民地の塀に貼らせて貰っている場合もある。これらも含め全体について今よりもわかりやすい案内表示を今後考えていきたい。（事務局回答）

委員

交通規制的なことで協力できることがあれば、例えばタクシー乗場であれば路面に柵を設置する等、交通規制に関して必要があればご相談ください。

⇒ありがとうございます。 (事務局回答)

<事務局より事務連絡>

次回会議は、来年2月から3月にかけて第27回の会議を予定しています。